

# 赤幡神楽【あかはたかぐら】

開催場所	福岡県築上町 赤幡八幡神社
開催日 指定	5月3日・10月8日・12月31日 福岡県指定無形民俗文化財

## 【芸能の概要】

夕方、町内をねり歩いたみこしが神社へ帰ってくると、神社の前では鬼神が待ちかまえていて、みこしが神社に入るのを邪魔しようとしている。この鬼は悪い神様なのだろうか。しかし、結局みこしは鬼神をおしのけて神社の舞殿へとかけあがって、神楽の舞が無事に始まる。全部で23番の舞が伝えられているらしい。

近頃は、このあたりの結婚式でも神楽を舞うことがあるそうだ。

## 【芸能の特徴】

赤幡神楽は豊前地方では有名な神楽で、元々は旧築城郡の16の社家（神職を世襲する家柄）によって伝承されていましたが、明治以降は赤幡神社の氏子の人達によって奉仕されるようになりました。本来は三十三番の神楽でしたが、現在伝承されているのは二十二番。実際に演じられるのは十番程度でその場で演目を決めていくそうです。

堅苦しさは無く、神楽の合間には酒がくみ交わされ、舞い手も見物の人達も和気あいあいと神楽を楽しみます。面（おもて）を付けずに舞う演目が多かったそうで、飛んだり跳ねたりの派手な所作